



平成 28 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社クスリのアオキホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 宏憲
兼社長執行役員
(コード番号 3549 東証第一部)
問合せ先 取締役兼常務執行役員 八幡 亮一
グループ管理部門担当
(T E L 076-274-6115)

上場廃止となった子会社に係る決算開示について
(株式会社クスリのアオキ)

当社は、平成 28 年 11 月 21 日をもって完全子会社化した「株式会社クスリのアオキに関する平成 29 年 5 月期第 2 四半期決算短信（平成 28 年 6 月 21 日から平成 28 年 11 月 20 日まで）」を、添付のとおりお知らせいたします。

記

株式会社クスリのアオキ 平成 29 年 5 月期第 2 四半期決算短信（非連結）

なお、当社の平成 29 年 5 月期連結業績予想は平成 28 年 11 月 21 日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社業績予想等に関するお知らせ」に記載しております。

(ご参考)

平成 29 年 5 月期連結業績予想

株式会社クスリのアオキホールディングスの平成 29 年 5 月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 線
通期	191,000	9,056	9,300	6,510	207.21

注) 上記業績予想は、株式会社クスリのアオキの平成 28 年 5 月 21 日から平成 29 年 5 月 20 日の業績と株式会社クスリのアオキホールディングスの平成 28 年 11 月 21 日から平成 29 年 5 月 20 日までの業績が連結対象となる予定です。

以上



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年12月15日

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス（株式会社クスリのアオキ分）

上場取引所 東

コード番号 3549 URL <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長兼社長執行役員 （氏名）青木宏憲

問合せ先責任者（役職名）取締役兼常務執行役員グループ管理部門担当 （氏名）八幡亮一 TEL 076-274-6115

四半期報告書提出予定日 未定 配当支払開始予定日 平成29年1月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年5月期第2四半期の業績（平成28年5月21日～平成28年11月20日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	92,486	18.7	5,656	19.4	5,786	17.8	4,302	26.4
28年5月期第2四半期	77,906	20.4	4,738	28.9	4,911	30.2	3,404	38.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	136.91	136.61
28年5月期第2四半期	108.44	108.10

（注）会計方針の変更に伴い、28年5月期第2四半期については、遡及適用後の数値を記載しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第2四半期	89,420	32,094	35.8
28年5月期	78,170	27,942	35.7

（参考）自己資本 29年5月期第2四半期 32,018百万円 28年5月期 27,880百万円

（注）会計方針の変更に伴い、平成28年5月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年5月期	—	7.00	—	—	—
29年5月期（予想）	—	—	—	—	7.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 「29年5月期（予想）」については、平成28年11月21日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う業績予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年5月期の業績予想（平成28年5月21日～平成29年5月20日）

平成28年6月30日公表の「株式交換による持株会社体制への移行に関するお知らせ」のとおり、当社は、一連の手続きを経て株式会社クスリのアオキホールディングスの完全子会社となり、平成28年11月16日をもって上場を廃止していることから、業績予想を記載しておりません。

株式会社クスリのアオキホールディングスの連結業績予想につきましては、平成28年11月21日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う業績予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期2Q	31,438,000株	28年5月期	31,420,000株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	440株	28年5月期	440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期2Q	31,427,075株	28年5月期2Q	31,391,566株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年6月30日公表の「株式交換による持株会社体制への移行に関するお知らせ」のとおり、当社は、一連の手続きを経て株式会社クスリのアオキホールディングスの完全子会社となり、平成28年11月16日をもって上場を廃止していることから、業績予想を記載していません。

株式会社クスリのアオキホールディングスの連結業績予想につきましては、平成28年11月21日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う業績予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 四半期報告書の提出について

当社は、平成28年11月16日付で上場を廃止していることから、四半期報告書を提出しない予定でありますので、提出予定日を記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成28年5月21日～平成28年11月20日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策等を背景とした企業収益の改善や雇用環境の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国等の経済成長の減速など、景気の先行については不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、他業種の参入により医薬品販売の先行きの厳しさが増す等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、「健康と美と衛生を通じて、社会から期待される企業作りを目指します。」という理念の下、引続き、地域のお客様に支持される売場づくりに努めるとともに、既存店の活性化に注力し、15店舗の全面改装を実施いたしました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを、石川県に2店舗、富山県に1店舗、福井県に2店舗、新潟県に2店舗、長野県に2店舗、群馬県に8店舗、埼玉県に2店舗、岐阜県に9店舗、愛知県に1店舗、滋賀県に2店舗、三重県に4店舗、栃木県に1店舗の合計36店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を、石川県に2薬局、富山県に2薬局、福井県に1薬局、新潟県に2薬局、長野県に1薬局、群馬県に2薬局、岐阜県に1薬局、滋賀県に2薬局、愛知県に1薬局の合計14薬局を新規開設いたしました。一方、ドラッグストア1店舗、調剤専門薬局1店舗を閉店いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末の当社の店舗数は、ドラッグストア346店舗（内調剤薬局併設173店舗）、調剤専門薬局6店舗の合計352店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高924億86百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益56億56百万円（同19.4%増）、経常利益57億86百万円（同17.8%増）、四半期純利益43億2百万円（同26.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は894億20百万円となり、前事業年度末に比べ112億49百万円増加いたしました。主な増加要因は、新規出店等による建物等の有形固定資産の増加48億10百万円、商品及び製品の増加28億51百万円等によるものであります。

負債合計は573億25百万円となり、前事業年度末に比べ70億97百万円増加いたしました。主な増加要因は、買掛金の増加38億87百万円、新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金（1年内返済予定含む）の増加23億44百万円等によるものであり、主な減少要因は、賞与引当金の減少8億33百万円等によるものであります。

純資産合計は320億94百万円となり、前事業年度末に比べ41億52百万円増加いたしました。また、自己資本比率は、35.8%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月30日公表の「株式交換による持株会社体制への移行に関するお知らせ」のとおり、当社は、一連の手續きを経て株式会社クスリのアオキホールディングスの完全子会社となり、平成28年11月16日をもって上場を廃止していることから、業績予想を記載しておりません。

株式会社クスリのアオキホールディングスの連結業績予想につきましては、平成28年11月21日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う業績予想等に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(売上高の会計処理方法の変更)

当社は、従来、コンセッションナリー部門における取扱高を、「売上高」及び「売上原価」として計上しておりましたが、コンセッションナリー部門の取扱高の増加に伴い、「我が国の収益認識に関する研究報告（中間報告）＜日本公認会計士協会：会計制度委員会研究 報告第13号＞」等を踏まえ、取引内容を再検討した結果、経営成績をより適切に表示するため、第1四半期会計期間より利益相当額を売上高に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期および前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表および財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の売上高および売上原価が、それぞれ647百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および税引前四半期純利益への影響はありません。なお、前事業年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

(借地権の償却方法の変更)

当社は、従来、借地権を非償却資産として無形固定資産に計上しておりましたが、今後、事業用定期借地権契約に基づく出店数増加が予想され、それに伴い借地権の金額的重要性が増すことを勘案し、第1四半期会計期間から適切な費用配分方法に基づく合理的な期間損益計算を行うため、当該借地権を契約期間により、均等償却する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期および前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表および財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ19百万円減少しております。また、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前事業年度の借地権、利益剰余金の期首残高がそれぞれ314百万円、218百万円減少しております。なお、前第2四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、44銭減少しており、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましても、44銭減少しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年5月20日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,001	10,888
売掛金	1,971	2,826
商品及び製品	17,721	20,572
繰延税金資産	1,306	1,425
未収入金	4,434	4,650
その他	37	72
貸倒引当金	△24	△27
流動資産合計	34,448	40,408
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,273	29,439
土地	1,046	1,046
その他(純額)	10,782	11,426
有形固定資産合計	37,102	41,912
無形固定資産		
借地権	548	568
その他	187	169
無形固定資産合計	735	738
投資その他の資産		
投資有価証券	168	179
関係会社株式	4	4
繰延税金資産	294	294
敷金及び保証金	3,260	3,566
その他	2,157	2,316
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,883	6,360
固定資産合計	43,721	49,011
資産合計	78,170	89,420
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,267	26,155
1年内返済予定の長期借入金	3,059	3,460
未払法人税等	1,786	1,730
賞与引当金	1,059	226
ポイント引当金	2,167	2,407
その他	4,572	5,880
流動負債合計	34,912	39,860
固定負債		
長期借入金	11,183	13,126
役員退職慰労引当金	367	99
資産除去債務	1,891	2,260
その他	1,874	1,978
固定負債合計	15,316	17,464
負債合計	50,228	57,325

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年5月20日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,391	1,403
資本剰余金	1,594	1,605
利益剰余金	24,834	28,941
自己株式	△1	△1
株主資本合計	27,819	31,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61	69
評価・換算差額等合計	61	69
新株予約権	61	76
純資産合計	27,942	32,094
負債純資産合計	78,170	89,420

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年5月21日 至平成27年11月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)
売上高	77,906	92,486
売上原価	56,526	66,603
売上総利益	21,380	25,883
販売費及び一般管理費	16,641	20,226
営業利益	4,738	5,656
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	1	1
受取家賃	22	27
固定資産受贈益	35	41
補助金収入	65	17
受取手数料	93	77
その他	9	11
営業外収益合計	237	189
営業外費用		
支払利息	44	40
賃貸収入原価	13	13
その他	7	5
営業外費用合計	64	59
経常利益	4,911	5,786
特別利益		
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	13	6
減損損失	—	44
特別損失合計	13	52
税引前四半期純利益	4,897	5,735
法人税、住民税及び事業税	1,581	1,555
法人税等調整額	△87	△123
法人税等合計	1,493	1,432
四半期純利益	3,404	4,302

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年5月21日 至 平成27年11月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年5月21日 至 平成28年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,897	5,735
減価償却費	1,557	1,990
減損損失	—	44
新株予約権戻入益	—	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△590	△833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17	△267
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	216	240
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	44	40
固定資産除却損	13	6
固定資産売却損益 (△は益)	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△302	△855
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,231	△2,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,531	3,887
その他	139	1,093
小計	6,286	8,222
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△44	△40
法人税等の支払額	△1,368	△1,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,875	6,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	1
有形固定資産の取得による支出	△5,849	△5,734
無形固定資産の取得による支出	△58	△68
敷金及び保証金の差入による支出	△280	△327
敷金及び保証金の回収による収入	0	0
建設協力金の支払による支出	△182	△206
その他	△24	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,394	△6,361
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△1,341	△1,655
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19	19
リース債務の返済による支出	△431	△446
配当金の支払額	△172	△196
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,072	1,721
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	553	1,886
現金及び現金同等物の期首残高	8,481	9,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,035	10,888

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は医薬品・化粧品等の小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

株式交換による持株会社体制への移行

当社は、平成28年6月30日開催の取締役会において決議され、平成28年8月18日に開催された、当社及び株式会社クスリのアオキホールディングスの定時株主総会において承認された、株式会社クスリのアオキホールディングスを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施する株式交換契約を株式会社クスリのアオキホールディングスとの間で締結し、平成28年11月21日に効力を発生したことにより、同日付けで持株会社体制に移行いたしました。

本株式交換の実施により当社の株式は上場廃止となっておりますが、当社の株主の皆様新たに交付される株式会社クスリのアオキホールディングスの株式は、株式会社クスリのアオキホールディングスがテクニカル上場を申請し、平成28年10月21日公表の「当社の親会社となる「株式会社クスリのアオキホールディングス」の上場承認に関するお知らせ」に記載のとおり、平成28年11月21日に上場が承認されたことで、株式の上場を維持しております。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

当社は医薬品・化粧品等の小売業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

(1) 仕入実績

当第2四半期会計期間及び当第2四半期累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成28年8月21日 至 平成28年11月20日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年5月21日 至 平成28年11月20日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ヘルス	4,055	11.4	7,448	10.6
ビューティ	6,433	18.2	12,550	17.9
ライフ	21,970	62.0	44,095	62.9
調剤	2,961	8.4	6,030	8.6
合計	35,421	100.0	70,125	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除しておりません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス・・・医薬品、ビタミンサプリメント等の健康食品、救急用品等の医療用品

ビューティ・・・カウンセリング化粧品・洗顔料等のフェイスクア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ・・・菓子・飲料等の食品、オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

調剤・・・薬局にて処方する医療用医薬品

(2) 販売実績

① 商品部門別販売実績

当第2四半期会計期間及び当第2四半期累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成28年8月21日 至 平成28年11月20日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年5月21日 至 平成28年11月20日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ヘルス	5,729	12.5	11,343	12.2
ビューティ	8,364	18.2	17,181	18.6
ライフ	27,214	59.3	54,922	59.4
調剤	4,598	10.0	9,038	9.8
合計	45,906	100.0	92,486	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 地域別販売実績

当第2四半期会計期間及び当第2四半期累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数(店)	当第2四半期会計期間 (自 平成28年8月21日 至 平成28年11月20日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年5月21日 至 平成28年11月20日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
北陸	173	26,122	56.9	53,591	57.9
信越	64	8,002	17.4	16,160	17.5
北関東	49	5,072	11.1	9,897	10.7
東海・近畿	66	6,709	14.6	12,836	13.9
合計	352	45,906	100.0	92,486	100.0

(注) 1. 店舗数は当第2四半期会計期間末現在のものであります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。